

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本精工株式会社 藤沢工場桐原棟増築工事	階数	地上2階
建設地	藤沢市桐原町12-2、-3、-4、-6	構造	S造
用途地域	工業専用地域 防火・準防火指定なし 法22条地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,200時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2016年4月26日
敷地面積	23,290 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 大建設
建築面積	12,049 m <sup>2</sup>	確認日	2016年4月26日
延床面積	14,269 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 大建設



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
短計でシンプルな平面形状 切妻屋根形状とすることによりボリューム感を抑え周辺のまちなみに配慮した 緑地を最大限確保し、まちなみや景観、地域環境に貢献する	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
居室郡のガラスはT-2以上の防音ガラスとし室内環境の向上に努める	床用積載荷重の平均値は15、436N/m <sup>2</sup> 内装は維持管理が容易な材料を選定	建物は切妻屋根とし、周辺のまちなみに対しボリューム感の低減を図る
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高効率型空調ヒートポンプ空調機の採用し、省エネに配慮した	内装材について、リサイクル材を積極的に利用	ゴミ分別容器の設置や有価物の改修計画をしている

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される